

# Also Available...

## Alpha Channel

SSLの伝統的なマイクプリ・フィルター・イコライザー・ダイナミクスの組み合わせで、デジタルオーディオワークステーションに必要なアナログプロセッシングの全てを装備しています。ヴォーカルや楽器の録音に必要な機能を全て持ち、世界中の録音スタジオから認められているSSLの長年の研究開発の成果が、アルファチャンネルに装備されるスタジオクラスのマイクプリやプロセッシングに活かされています。



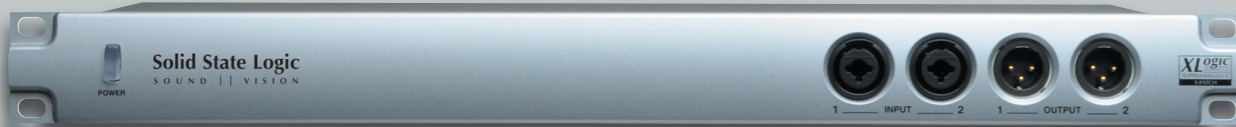
## Alpha VHD Pre

SSLの大型アナログレコーディングコンソール“Duality”に搭載されているVHD回路\*を元に作られたAlpha VHD Preは、4系統のSSLマイクプリアンプとして、またラインレベルのDAWオーディオインターフェイスとして、あなたのスタジオをプロフェッショナルクラスのアナログマルチトラックレコーディング環境へと変化させます。\*VHD回路とは、ハリアブル・ハーモニック・ドライブというSSL独自の回路で、原音に2次倍音(2nd)から3次倍音(3rd)を連続可変で加える事ができ、様々なキャラクターのサウンドをアナログレベルで作り出すことが可能となります。



## X-Patch

X-Patchは、山積みのアナログアウトボードをプラグインスタイルで扱えるようにする新しいアイテムです。SSLのMatrixコンソールで培われた技術を用いた、16×16のSuperAnalogue™ルーティングマトリクスは、今お使いのPC/MACからイーサネットを介してリモートでコントロールできます。SSLのLogicivity™リモートスタジオブラウザにより、セットアップ、諸設定やプリセットの保存ができ、X-Patchをあらゆるプロダクションスタジオの環境に合わせて活かすことができます。



お取り扱い店詳細:

## Solid State Logic

International HQ: Begbroke, Oxford, England OX5 1RU · Tel +44 (0)1865 842300 · Email sales@solidstatellogic.com  
 France: 7 bis de la Victoire, 93150 Le Blanc Mesnil, France · Tel +33 (0)1 48 67 84 85 · Email frsales@solidstatellogic.com  
 Italy: Via Timavo 34, 20124 Milano, Italy · Tel +39 0392 328094 · Email itasales@solidstatellogic.com  
 New York: 320 West 46th Street, New York, NY 10036 · Tel +1 212 315 1111 · Email nysales@solidstatellogic.com  
 Los Angeles: 3700 Wilshire Boulevard, Suite 720, LA, CA 90010 · Tel +1 877 883 4310 · Email lasales@solidstatellogic.com  
 Japan: 3-55-14 Sendagaya, Shibuya-Ku, Tokyo 151-0051 · Tel +81 (0)3 5474 1144 · Email xlogicsupport@solid-state-logic.co.jp

© 2010 by Solid State Logic. All Rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions. Solid State Logic and SSL are trademarks of Solid State Logic. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Oxford, England. Solid State Logic has a policy of continual product enhancement and reserves the right to alter specifications without notice. E&OE. 01.03.10

実際の製品構成は写真のものとは異なる場合があります。また性能向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © 2010 by Solid State Logic Japan K.K. ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14 TEL: 03-5474-1144 FAX: 03-5474-1147

**Solid State Logic**  
SOUND || VISION  
**X-Rack & Mynx. This is SSL.**



# XLogic X-Rack & Mynx

Modular SuperAnalogue™ Processing

**Solid State Logic**  
SOUND || VISION  
**X-Rack & Mynx. This is SSL.**

# This is SSL.

## The secrets of the world's finest analogue processing

Solid State Logic (SSL) は、30年以上世界中の著名なスタジオへ向けて3000台を超える最高品質のミキシングコンソールを造り続けています。そのサウンドクオリティーは世界中のミュージシャン、クリエイター、エンジニア、プロデューサーに絶大な信頼を頂いています。伝統のSSLサウンドは今日 Duality SE、AWS 924 / 948、Nucleus、C200 HD等に受け継がれておりハイエンドの音楽シーンで活躍を続けています。そのラージフォーマットコンソールと同じ技術を用いてSSLサウンドをアウトボードやモジュールラックで広くご利用頂けるようにした製品がXLogicシリーズであり、X-Desk、X-Patch、X-Rackシステムなどがあります。

以下のような SSLコンソールの技術がアウトボードシリーズにも活かされています。

### Pristine Audio Foundations オーディオ回路の基本

SSLの登録商標 SuperAnalogue™回路は、各回路の接続(段間)にコンデンサーを使用しない DC結合という技術を用いています。また最新の表面実装技術では部品の間隔も大変短くすることができます。長年の技術の蓄積により超ワイドレンジでフラットな周波数特性、超低雑音、超低歪率などを実現しています。これらの技術の結晶により192kHz、24ビットのADコンバータに対して超高精度なアナログ信号を送り込むことが可能になりました。更には録音時ばかりでなくサミングやコンプレッションなどミックス時にもSSLサウンドを享受できるような製品もご用意しています。

### SSL Mic Amps SSLマイクプリアンプ

この XLogicでは 3つのタイプのマイクロフォン・プリアンプから選択いただくことができます。1つ目は SuperAnalogue™回路を搭載した SL 9000J シリーズや XL 9000 K シリーズと同等のピュアオーディオ、ピュアサウンドに徹したバージョン。2つ目は 1980年代に一世を風靡した SL 4000 E シリーズコンソールで使用され、XLogic E Signature ユニットにも搭載されていた、ジェンセン社製トランス入力の暖かみのあるサウンドのバージョン、3つ目は SuperAnalogue™回路に最新の VHD (Variable Harmonic Drive) 回路技術を付加したバージョンです。(VHD回路の詳細は次項を参照)

### VHD Preamps VHD回路技術 (Variable Harmonic Drive)

VHD技術とは 100%アナログの回路技術でゲインコントロールとは別回路で、音声信号に含まれる 第2次高調波歪および 第3次高調波歪を強調し、これを連続可変させることで、50年代の暖かみのある真空管サウンドから70年代のハードエッジのトランジスタ回路までを表現することが可能です。この技術によりイコライザー回路とは別に音のキャラクターを捕らえ、より表現の幅を広げることができます。

### The Dual EQ Curve Thing 2種類のEQカーブ

SSLにはその歴史の中でキャラクターの違う数種類のイコライザーが存在しています。

XL 9000 K シリーズ、Duality SE、AWS 900+ SE のコンソールと、X-Rackおよび SuperAnalogue™チャンネルには 4バンドのパラメトリック

イコライザーが装備されていますが、これらは全て 2種類のイコライザーカーブを選択できるように設計されています。その一つは SSL の SL 4000 G シリーズコンソールに搭載された物ともう一つは SL 4000 E シリーズコンソールに標準的に搭載されていた物で、それぞれ略して G-EQ、E-EQ と称しています。G-EQ はスムーズなレスポンスで標準的にお使いいただけます。E-EQ はその特徴在る低音のコントロールなどでドラムス等で威力を発揮します。

また E Series EQモジュールは、4000 Eシリーズに搭載されていた 2種類の EQ いずれかを選択してお使いいただけます。初期の 4000 E コンソールには異なる 2種類のタイプの EQ が搭載されていました。Eシリーズ初期のオリジナルの EQ は、低音のコントロールツマミの色が茶色だったためにブラウン EQ と呼ばれています。しかし 1983年に新たにジョージ・マーティン氏らと共に開発された EQ が登場し、通称 E-EQ と呼称されその後標準的に 4000 E シリーズコンソールに採用されました。この EQ は低音のコントロールツマミの色が黒だったためにブラック EQ もしくはブラックノブ EQ と呼ばれています。そして今日ブラックノブ EQ は、X-Rack のモジュールでご利用いただくことができます。

### Cool Dynamics 4種類のダイナミクス

EQと同様にダイナミクスにも 4種類のテイストの違うバージョンがあります。一つ目は SL 9000 J シリーズ以降の機種に搭載のコンプレッサー/リミッター・ゲート/エキスパンダーでゲートのホールドタイムが設定可能です。二つ目はシングルチャネルに搭載されるダイナミクスで、初期の SL 4000 E シリーズのサウンドを再現しています。また過激なコンプレッションの掛かるリッスンマイクコンプは、特徴あるドラムサウンドを産んだ伝説のコンプレッサーです。またバスコンプレッサーは通称 G シリーズコンプレッサーとも呼ばれ SL 4000 G シリーズのマスターセクションに搭載された、トータルコンプレッサーです。

### Total Recall SSL SSLのトータルリコール

フェーダーオートメーションとは別に、アナログコンソールで世界で最初に全てのツマミやスイッチの位置を記憶するシステムを実現したのは SL 4000 シリーズです。そのシステムは Total Recall™ (トータルリコール) と呼ばれるシステムで、X-Rack システムにも搭載されていて、ラックシステムでは初の全てのツマミやスイッチの位置を記憶していますので、後日同じセッティングに素早く回復させることが可能です。

# X-Rack

## Modular console grade technology

## Legendary SSL Mic Amp, EQ, Dynamics, Mix Bus and Total Recall™ technology in a modular rack



X-Rackは、SSLのコンソールDuality SE、AWS 900+ SEと全く同じ思想で設計されていて、モジュールラックシステムの中で唯一ツマミやスイッチの位置を記憶できるトータルリコール (Total Recall™) と二つのステレオミックスバスを搭載しています。X-Rackは、最大8モジュールを自由に組み合わせてシステム構築することができ、Super Analogue Processing が特徴の XL 9000 K シリーズと同等の回路を持つ X-Rack 用モジュールとして「Dynamicsモジュール」と「Mic Ampモジュール」、「Channel EQモジュール」があります。「Stereo Bus Compressorモジュール」と「VHDインプットモジュール」また「Master Busモジュール」、「4 Line Inputモジュール」のモジュールを取り付けミキサーを構成させることも可能です。例えば「Master Busモジュール」1枚と「4 Line Inputモジュール」を7枚で、1セット 28チャンネルのラインミキサーなどのシステムを構成することができます。X-Rack本体は19インチ4Uサイズに高性能な電源が装備されています。またミックスバスリンクポートでは2台のXRackをカスケード接続可能です。トータルリコール (Total Recall™) では32シーンのスナップショットがストアー可能で、またMIDIポートからデータとして外部に記録も可能です。(モジュールは別売り)

# Mynx

## Modular SuperAnalogue™ processing for your desktop

Mynx (ミンクス) は、あなたのレコーディングで奥行きや透明感のある SSL の SuperAnalogue™ 音質のキャラクターを加えたい時に最適です。

Mynxは、X-Rackモジュール(11種類)からお好きなモジュールをお選びいただき最大2つのモジュールをマウントすることができます。Mynxを加えることであなたのDAWレコーディングやミックスに、よりダイナミックな効果をもたらす強力なツールとなります。

‘SuperAnalogue™ Mic Pre’ と ‘Dynamics’ の組み合わせで使用すると、初期のボーカルレコーディング様なサウンドを創ることができます。‘EQ’ と ‘Dynamics’ モジュールを組み合わせるとクラシックなSSLコンソールのチャンネルストリップを構成できます。サミングやモニタリングには Master Bus と Line Inputモジュールの組み合わせがおすすめです。またミックスの仕上げ時には、SSLのStereo Bus Compressorモジュールをお使いいただくこともできます。

マウント可能なモジュールは11種類あり、お好きなモジュールをお選び頂けます。次のページにモジュールのラインナップがあります、ご参照ください。(モジュールは別売り)

※Total Recall機能はありません。電源は外部アダプターです。



# X-Rack System Modules

Build the perfect SSL

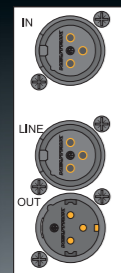
Configure your perfect X-Rack or Mynx system from the following modules:



## X-Rack Mic Amp Module

Mic Ampモジュールはマイクロフォン以外の多様な入力機器にも対応できるよう設計されています。SuperAnalogue™マイクプリは、スムーズな周波数特性と広いダイナミックレンジが特徴です。一度お使いになると、あなたが使っているマイクロフォンで「本当はこんな音がしたんだ」と改めて認識できるほどのサウンドクオリティに驚かされることになるでしょう。下記に主な機能を示します。

- 可変インピーダンス (1.2kHz~10kHz)
- ファンタムパワー/フェーズリバース
- マイクゲインと独立したラインインプットコントロール
- 可変ハイパス/ローパスフィルター
- +12dBから+75dBゲインコントロール
- フロントパネルにインストゥルメント入力端子装備
- レコードバス用アウトプットスイッチ装備
- +20dBパッドスイッチ



## VHD Input Module

現行のMIC Pre Moduleの機能に加え、原音に2次倍音から3次倍音を連続可変で加えることのできるVHD回路(Variable Harmonic Drive回路)を追加し、VHDをX-Rackでも使えるようにしたモジュールです。さらにSSL伝説のListen Mic Compressorを装備しており、ハイパスフィルター・ローパスフィルター、RECバスアサイン機能も標準装備しています。

- 電子バランス超広帯域マイク入力
- +20dBから+70dBゲインコントロール
- Hi-z (ハイインピーダンス) と-20dBパッドスイッチをマイクインプットに装備
- 独立したライン入力XLR端子装備
- VHD回路による第二次高調波歪から第三次高調波歪付加回路
- ドラムサウンドなどに有効な伝説のリスンマイクコンプレッサー装備
- 可変型ハイパス、ローパスフィルター装備



## X-Rack Channel EQ Module

SSL伝説の4バンドパラメトリックイコライザーです。世界中の多くのプロデューサーとエンジニアが古いSSLコンソールから取り出したEQモジュールを持っています。ある人はそのEQが彼らのミックスのためには必要不可欠なツールであると言うでしょう。このChannel EQモジュールを使用すると、SSLの伝統的なラージコンソールに装備されているSSL twin-curve、EとGシリーズのイコライザーカーブを、コンパクトなX-Rackシステムで再現することが可能になります。XL 9000 Kシリーズコンソールと全く同じ回路構成になっていて最新のAWS 900+ SEや、Duality SEアナログ・マスター・プロダクション・システムにも採用されています。

- Duality SEやAWS 900+ SEにも受け継がれているXL 9000 Kコンソールと全く同等の回路
- EタイプとGタイプ、2つのイコライザーカーブが選択可能
- ハイバンドとローバンドではベルカーブとシェリングカーブを選択可能
- EQ in スイッチで比較試験が可能



## X-Rack Dynamics Module

X-Rack Dynamicsモジュールはコンプレッサー/リミッター・エキスパンダー/ゲートの機能があり、XL 9000 Kシリーズコンソールのチャンネルダイナミクスを基に作られています。回路のすべてが、SSLのSuperAnalogueの回路技術で構成され、非常に低ノイズで歪みの少ない高品質のサウンドが得られます。

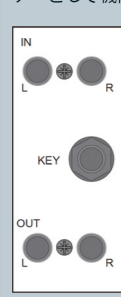
- 電子バランスXLR入出力コネクター
- 入出力レベルは-10dBと+4dBの切り替え可能
- コンプレッションLEDメーター装備
- RMSタイプとハードニータイプ、ピークコンプレッションの切り替え可能
- 外部キー入力装備
- レンゾ、スレッシュホールド、リリース用可変コントロール
- ゲートとエキスパンダーの切り替え可能
- ゲートオープン時のホールドタイム設定可能
- リンクスイッチで複数台を同期



## Stereo Dynamics Module

X-Rack Stereo Dynamics Moduleは、SSLアナログコンソールに搭載されているChannel Dynamicsをステレオバージョンでモジュール化したものです。独立したコンプレッサー/リミッターとエキスパンダー/ゲート回路を持ち、SSL SuperAnalogueクオリティのレベルコントロール・ツールとしてレコーディングやトラックダウンに活躍します。コンプレッサーセクションは、優しい'Over Easy' RMSタイプとアグレッシブなPeak Senseタイプとを切り替えられ、ハードニーの特性により幅広いレンジでのレベルコントロールが可能です。もう一つのセクションはノイズゲートとして、またはさらなる創造的な音色作りのためのエキスパンダーとして機能します。これらDynamicsの各機能は外部Key入力(モノラル)によって動作させることもでき、複数のモジュールをX-Rackに実装し隣のモジュールとリンクさせて使用することもできます。

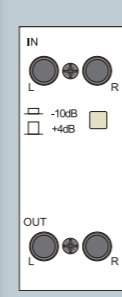
- 音声信号レベルは+4dBu
- 入出力はバランスで1/4インチステレオジャック
- RMSまたはPeak Senseのステレオコンプレッサー/リミッター
- LR 個別のゲインリダクションメーターを装備
- 独立して切り替えられるエキスパンダー/ゲート
- 外部 Key 入力は1/4インチモノラルジャック
- 複数のモジュールとリンクできる機能を搭載



## Stereo EQ Module

X-Rack Stereo EQ Moduleは、SSLアナログコンソールに搭載されているChannel EQをステレオバージョンでモジュール化したものです。SSL伝説の4バンド・パラメトリック・イコライザーを採用したこのEQモジュールは、正確かつ繊細な修正を必要とするときや滑らかに包括的なサウンド作り、さらにはよりアグレッシブなキャラクター付けなどあなたの望むサウンドを実現するための強力なツールとなります。

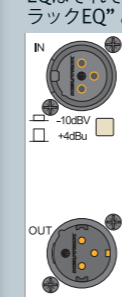
- Duality SEやAWS 900+ SEにも受け継がれているXL 9000 Kシリーズコンソールと同等の回路をもつEQのステレオバージョン
- EタイプとGタイプの2つのEQキャラクターをフィルター部、ミッドレンジ部と別々に選択可能な'Selective Mode' スイッチを搭載
- HFとLFではシェリングカーブとベルカーブを選択可能
- EQ IN スイッチで比較試験が可能
- リアパネルの音声接続コネクターはTRSフォーンジャック
- TotalRecall™対応でステータスLEDを装備



## 4000 E Series EQ Module

EシリーズEQモジュールは、X-Rack & Mynxシリーズに新しく加わった、ふたつのEシリーズモジュールのひとつです。このEシリーズモジュールは、1980年代に数え切れないほどのレコーディングで使用された、SL 4000 Eシリーズコンソールのチャンネルストリップを再現した、伝説の80年代初期のサウンドを持つモジュールです。このEシリーズEQモジュールは、1979年から1987年に生み出されたコンソールに実装されていた、タイプの異なる2つのEQを搭載しています。それぞれのEQは独特のレスポンスカーブとキャラクターを持っており、LFポットのノブの色で違いを表していました。そこから2つのEQはそれぞれノブの色を参照して「ブラウンEQ」や「ブラックEQ」と呼ばれるようになり、広く知られることとなりました。EシリーズEQモジュールは、数多くのプロデューサーに愛されてきたこれら2つのEQサウンドを、スイッチで切り替えて使用できます。

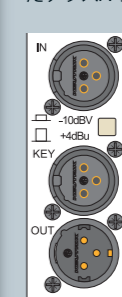
- 不朽のSSL 4000シリーズ回路設計
- "Black-242"と"Brown-02"のツインカーブEQデザイン
- ベルカーブオプションを持つHFとLF
- Qコントロール付きパラメトリックカーブのLMFとHMF
- クラシックな611Eコンソールチャンネルストリップを基にしたデザイン



## 4000 E Series Dynamics Module

EシリーズDynamicsモジュールは、X-Rack & Mynxシリーズに新しく加わったふたつのEシリーズモジュールの一つです。新たに加わったEシリーズEQ (左側の写真) 同様、1980年代に数え切れないほどのレコーディングで使用された、SL 4000 Eシリーズコンソールのチャンネルストリップを再現したモジュールです。このEシリーズDynamicsモジュールは、オリジナルのSL 611Eシリーズチャンネルモジュールを再現した、コンプレッサー/リミッター、エキスパンダー/ゲートモジュールです。サイドチェーンには正確なRMSコンバーターが使用され、ゲインコントロールはオリジナルと同様に完全に独立したクラスAのVCAチップを使用しています。またコンプレッサーはスイッチ切り替えにより通常のログカーブよりも、リニアなカーブのリリース特性を持つ"Over-Easy"のタイプも選択できます。つまり、ひとつのコンプレッサーで、3種類の、それぞれに独特で音楽的なサウンドを選ぶことができます。

- 不朽のSSL 4000シリーズ回路設計
- クラスAのVCAを採用
- 外部キーインプットを持つエキスパンダー/ゲート
- クラシックな611Eコンソールチャンネルストリップを基にしたデザイン



# X-Rack System Modules

Build the perfect SSL

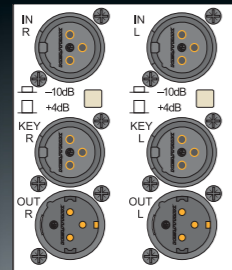
Configure your perfect X-Rack or Mynx system from the following modules:



## Stereo Bus Compressor Module

このStereo Bus Compressorモジュールは、SSLのラージ・コンソール、SL4000 Gシリーズのセンター・セクションに搭載された、ハイクオリティなコンプレッサーを、音質・機能はそのままにX-Rackにマウント可能なモジュールにしたものです。このモジュールにより、X-Rackは、より完全なミキサー/アナログワークステーションとなります。サイズは2スロット分です。

- SSL伝統のマスター用ステレオバスコンプレッサー
- 位相差等の発生しない完璧なステレオリンク



- リンク端子で複数台を使用しサラウンドコンプレッションにも対応
- 使い勝手を考慮しゲインリダクション表示には伝統のアナログメーターを装備
- 電子バランスによるXLR入出力端子装備

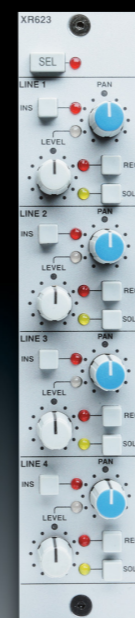


## X-Rack Eight Input Module

X-Rack 8ch入力モジュールはステレオ4系統を入力可能なサミング用アンプです。Master Bus Moduleと組み合わせて使用します。INPUT 1/2 と 3/4 にはインサートも装備されています。サブミキサーや、シンセサイザーなどスタジオのマルチチャンネル・オーディオ・インターフェースから、より多くのステレオソースを扱いたいというX-Rackユーザーの要望に応えるべく誕生しました。X-Rack 8ch 入力モジュールは、4ch入力モジュールの2倍の入力を備えています。レベルコントロール、ソロスイッチ、パンコントロール機能は装備されておりません。4ch入力モジュール、8ch入力モジュールは共にMaster Busモジュールと組み合わせて使用することで、サミングやメータリングができ、X-Rackをマルチ入力モジュールとして又はトータル・リコール付きデュアル・ステレオバスのミニSSLミキサーとしてご使用いただけます。



- 4ステレオに割り振られた8ラインレベル入力
- 各ステレオペアにはモノラルサミングスイッチを装備
- 入力1/2と3/4にはインサートポイントも装備
- 各ステレオペア毎にOn/Offスイッチ装備



## X-Rack Four Channel Input Module

4 Line Input モジュールは、モノ4チャンネルのライン信号(各々にソロ、ボリューム、パン付き)をX-Rack Master Bus または Record Bus に送ることができます。各チャンネルにはボリューム、パンソロ、インサートを装備していますので、他のX-Rackモジュールはもちろ、X-Rack以外のアウトボードとつなげることが可能です。また、7枚の4 Line Inputモジュールと1枚のMaster Busモジュールを実装すれば1台のX-Rackで最大28チャンネルのラインインプット、デュアルステレオミックスバスが構築できます。さらにもう一台のX-Rackに、4 Line Inputモジュールを8枚フル実装した32チャンネル仕様に構成し、28チャンネルのX-Rackとカスケードすれば2台で最大60チャンネルのラインミキサーが完成します。

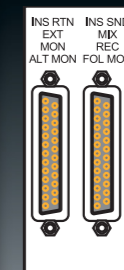


- ラインインプットモジュール
- 各入力にパンポット、レベルコントロールを装備
- マスターバスもしくはレコードバスにルーティング可能
- 各入力にインサートポイントを装備



## X-Rack Master Bus Module

Master-Bus モジュールでは、X-Rack内のMixとRecordのStereoバスを使用し、ミキサーとして機能させることが可能になります。このモジュールにはマスターレベルコントロール、ミックスインサート、インサードサム、モノコンパティビリティチェック、マスターアウトメーターが装備されています。さらに2系統のモニター回路にメインとミニスピーカー等を接続することができ、レベル、DIM、CUTのコントロールが可能です。

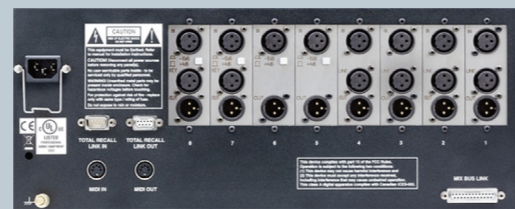


- X-Rackに装備された2つのステレオバスのマスター
- モニター用に二組のスピーカーを使用可能
- モニター回路にDIM、CUTスイッチを装備
- マスターレベルコントロールとメーターを装備
- インサートポイント装備
- インサートリターンはサミング入力としても使用可能
- ヘッドフォン出力端子をフロントパネルに装備
- モニターSolo機能装備

## X-Rack System Tracking Config モジュール構成例 その1

Build the perfect SSL

Mic Pre、VHD Mic Pre、EQ、Dynamicsの各モジュールを2枚ずつ実装した、Duality コンソールのチャンネルモジュール2本分にプラスして好みのマイクアンプを選択できる構成のレコーディング仕様。



## X-Rack System Summing Config モジュール構成例 その2

Build the perfect SSL

8ch Inputモジュールを1枚、4ch Inputモジュールを4枚実装した24チャンネルインプットをステレオバスコンプレッサーとマスターバスモジュールによってミキシングする、24chアナログラインミキサー仕様。

